

2023年度 高等学院同窓会学術研究奨励金
研究成果報告書概要（WEB公開用）高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [鈴木 凱陽]

学年・組・番号 [1年 F組 14番]

研究課題： 現地調査と文献調査による近世初期における西廻り航路成立がもたらした泉南地域の廻船業の発展

(英文) Development of the shipping industry in the Sennan region brought about by the establishment of the westbound sea route in the early modern period based on field and literature research

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について200～400字で記入してください)

本研究の目的は、泉佐野の豪商であった食野家を中心に、泉南地域における廻船業の発展と西廻り航路開拓にもたらした影響について明らかにすることである。近世において発展した交通網の中で顕著に社会産業に影響を与えた西廻り航路だが、食野家をはじめとして泉佐野などの泉南地域には西廻り航路による廻船業で巨万の富を築いた豪商が多く存在した。泉南地域における廻船業の発展について研究することは、西廻り航路成立から展開までを探るという観点から意義を持つと考えている。

そこで、本研究は主に2点の手順を用いた。1点目は、近世初期の食野家の動向や西廻り航路発展についての文献を大学図書館や都立図書館を利用して収集する。2点目に、大阪府泉佐野市での現地調査を実施し、当時の西廻り航路により発展した街を訪ねるとともに現地でしか手に入れることのできない文献を収集する。文献だけでなく現地調査を通して、研究課題にアプローチする。

研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について200～400字で記入してください)

泉佐野の豪商であった食野家を中心に、泉南地域における廻船業の発展と西廻り航路開拓にもたらした影響について考察した。先行研究で明かされてこなかった江戸時代前期における食野家の実態や、江戸時代中期における西回り航路による廻船業で巨万の富を築いた豪商である食野家は、どのような過程を踏んで台頭していったのかについて大阪府泉佐野市での現地調査を通して得た知見をもとに独自の考察を加えた。先行研究で明らかになっていた泉佐野の漁民による遠方漁業から、泉佐野の漁民は海運を熟知しており、西廻り航路が開拓されたときも容易に対応することができたことにより泉佐野の廻船業は発展したのではないかと結論付けた。泉佐野の西廻り航路が開拓される前の近世初期における佐野の漁民による活動及び佐野の商人による廻船業が、西廻り航路発展に寄与した側面もあると考え、両者は相関関係にあるのではないかと新たな結論を導いた。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 鈴木 凱陽

研究分担者

担当教諭 松澤 徹

(受給額： 30000円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名がWEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上